

働き方改革の星

AICHI WISH 企業

金属加工の日研工業は、2017年9月に企業主導型保育所「ナーサリースクールかがやき」を開所。また、女性、障害者の雇用を積極的に進め、愛知労働局の「AICHI WISH」の四つ星企業に認定された。同社は金型製造やプレス加工に加え、12年に「経営革新計画」を取得し、金属への3Dラミネートによる加飾加工を開始するなど事業領域を拡大。人員体制を増強する中、男女ともより働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

同社はリーマン・ショックをきっかけに受注待ちの賃加工からの脱却を決断。3Dラミネートによる自動車内装部品などの製造を武器に「提案型」の企業経営に転換を目指すことにした。そこで働き手の確保と、会社の認知度向上が課題として浮上した。

「社員の通勤範囲を調べたら、各工場の3キロ圏内。会社が広く知られて

日研工業



ヤギの除草事業を子どもの情操教育に役立てている

【企業メモ】 本社＝名古屋市北区丸新町449▽電話＝052・902・1767▽設立＝1974年▽社長＝出原直朗▽従業員数＝50人（男28人、女22人）▽年商＝5億4千万円

社内保育所を地域に開放

男
女
ともに
働きやすい
職場環境実現

いないと思いついた。地域の人々にも、何の会社か知られていない」と出原直朗社長は再認識した。

働き手の確保と、地域内での企業イメージ向上を狙って、従業員駐車場に取得していた本社近くの住居付き空き店舗を改装し、保育所をオープンした。保育所の定員は19人。現在、社員

の子ども8人に加え、地域内の子どもを預かっている。

社員の中には、保育園への子供の送迎に1時間近くかけていた人もいたが、一緒に出勤することで、時間にゆとりができた。出原社長は「保育所の子どもたちとの交流やイベントを通じて、地域の人たちや、社内の部門を超えたコミュニケーションもでき、やってよかったと思う」と効果を実感している。

同社の従業員は男女比がほぼ半々。金属加工の工場としては女性社員数が多い。小さなパーツの仕分けや検査など、女性の方が得意な仕事が多いことが理由だ。また、知的障害者2人、精神障害者1人、シルバー人材2人など、多様な働き手を採用するダイバーシティにも取り組む。「単純作業や軽作業など、仕事を切り分ければ、いろいろな背景を持つ人が働ける職場になる」と話す。

このほか、保育所の地域活用や、会社設備の地域防災への利用、ヤギ除草事業への協力など地域貢献にも力を入れ、企業イメージ向上を図っている。